



2023年8月10日

各 位

会 社 名 西本Wismettacホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役会長CEO 洲崎良朗  
(コード番号：9260 東証プライム市場)  
問合せ先 取締役社長執行役員COO兼CFO 佐々祐史  
(TEL. 03-6870-2015)

### 2023年12月期 通期連結業績予想の修正及び 剰余金の配当（中間配当）に関するお知らせ

2023年2月14日に公表いたしました2023年12月期（2023年1月1日～2023年12月31日）の通期連結業績予想につきまして、下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

また、当社は、2023年8月10日開催の取締役会において、2023年6月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）を行うことを決議いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 通期連結業績予想の修正について

##### (1) 2023年12月期通期連結業績予想の修正（2023年1月1日～2023年12月31日）

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2023年2月14日公表)	304,000	11,000	11,000	7,300	508円61銭
今回修正予想(B)	304,000	12,000	12,500	7,500	522円54銭
増減額(B-A)	0	1,000	1,500	200	
増減率(%)	0.0	9.1	13.6	2.7	
(ご参考) 前期実績 <sup>(*)</sup> (2022年12月期 連結)	275,209	10,498	10,787	6,819	475円15銭

(\*) 国際会計基準IAS第12号「法人所得税」(2021年5月改訂)を第1四半期連結会計期間の期首より適用しており、前期実績における親会社株主に帰属する当期純利益及び1株当たり当期純利益については、当該会計基準を遡って適用した後の実績となっております。

(2) 修正の理由

当第2四半期連結累計期間における業績は、価格転嫁による利益率維持に努めたほか、円安による為替換算の影響もあり、2023年2月14日に公表いたしました中間期の連結業績予想を上回る利益を確保することができました。

インフレの長期化が各国の経済成長に及ぼす影響等、事業環境に対する先行き不透明感は強いものの、中間期の業績及び円安傾向の継続による増益効果、当社の財務ポジションにおける金利引上げの影響等を勘案し、通期連結業績予想の増額修正を行うことといたしました。

2. 剰余金の配当（中間配当）について

(1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2023年2月14日公表)	前期実績 (2022年12月期中間)
基準日	2023年6月30日	同左	2022年6月30日
1株当たり配当金	80円00銭	70円00銭	70円00銭
配当金の総額	1,148百万円	—	1,004百万円
効力発生日	2023年9月19日	—	2022年9月16日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 理由

当社は、将来の事業展開と財務体質強化のため内部留保を確保しつつ、安定的に配当を継続して実施していくことを基本方針としております。配当性向を重要な指標とし、通期30%程度の連結配当性向を目安としております。

当第2四半期末の中間配当につきましては、上記の方針及び本日公表の当第2四半期連結累計期間の業績等を総合的に勘案し、上記(1)の通り1株当たり10円増配して、80円とすることといたしました。

なお、2023年12月期の期末配当金につきましては、2023年2月14日公表の予想値（1株当たり80円）から変更なく、これにより年間配当につきましては1株当たり160円に増額することといたしました。

基準日	1株当たり配当金（円）		
	第2四半期末	期末	合計
配当予想		80円00銭	160円00銭
当期実績	80円00銭		
前期実績 (2022年12月期)	70円00銭	75円00銭	145円00銭

(注) 上記の予想は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上